

市民生活部

(単位：円)

オリンピック・パラリンピックプロジェクトチーム		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費
政策 2	活力に満ちたまち		事業名	オリンピック・パラリンピック推進事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
9,865,000	9,142,283	0	722,717	92.7%	—		
1 事業目的	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、市民の関心を高め、大会の機運を醸成するとともに、ミャンマーのホストタウンとして、幅広い交流を進めながら、次代を担う子どもたちの育成や国内外に向けたシティプロモーションなど地方創生につなげる。</p>						
2 事業内容	<p>(1) 交流事業 ア ミャンマー選手団事前キャンプ受入・交流 (ア) 大学生や高校生との合同練習 (イ) 市主催歓迎セレモニー (ウ) 各種団体との夕食交流会 (エ) 子どもたちとのミニ運動会 (オ) 鶴ヶ島水かけまつり2019 イ 鶴ヶ島産業まつりでの民族舞踊の披露 ウ 外務省「対日理解促進交流プログラム」におけるミャンマー訪日団の受入 エ JOCオリンピック教室 オ 車いすバスケットボール特別授業 カ 山崎晃裕選手特別講演会 キ ハンドボール男子オリンピック日本代表候補選手講演会</p> <p>(2) PR・啓発 ア ミャンマー祭り2019への子どもたちの出演 イ 埼玉県主催オリンピック1年前イベントでのPRブース出展 ウ 川越市主催オリンピック1年前イベントでのPRブース出展 エ 図書館まつりでのパネル展示 オ 市民センターまつりでのパネル展示 カ つるバス・つるワゴン及び公用車用のPRマグネットシートなどの作成</p>						
3 成果	<p>・ミャンマー選手団の事前キャンプを行い、多くの市民をはじめ、様々な団体と交流することができ、ホストタウンの取組を広く浸透させる機会となった。 ・オリンピックやパラリンピックに関連した取組も並行して進め、機運の醸成につながった。</p>						

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費	52～53
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		地域支え合い推進事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率		
15,600,000	12,656,060	0	2,943,940		81.1 %	—		
1 事業目的	地域の様々な主体が関わる協議体などの組織づくりによって、日常の暮らしの中で共に支え合い、助け合いながら、地域の課題を地域で解決していく仕組みを作る。							
2 事業内容	<p>(1) 地域支え合い協議会の運営支援 運営費・事業費の補助や活動提案などにより、8つの地域支え合い協議会の運営を支援した。 ア 特定非営利活動法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 イ 富士見地区地域支え合い協議会 ウ サザン地域支え合い協議会 エ 杉下地域支え合い協議会 オ 西部地域支え合い協議会 カ つるがしま中央地域支え合い協議会 キ 北地域支え合い協議会 ク すねおり地域支え合い協議会</p> <p>(2) 放課後子ども教室の運営支援 運営費の補助や活動提案などにより、地域支え合い協議会が実施する放課後子ども教室の運営を支援した。 ア 特定非営利活動法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 イ 富士見地区地域支え合い協議会 ウ サザン地域支え合い協議会 エ 杉下地域支え合い協議会 オ 西部地域支え合い協議会 カ つるがしま中央地域支え合い協議会 キ 北地域支え合い協議会</p>							
3 成果	<p>・令和元年12月に、すねおり地域支え合い協議会が発足し、概ね市内全域への地域支え合い協議会設立支援を達成したことで、全市的な地域支え合い協議会のネットワークが構築され、地域課題の解決に向けた支え合い活動の底上げを図ることができた。</p> <p>・地域住民が主体の助け合い隊、高齢者の見守り、子育て支援、防災防犯活動等を支援することで、共に支え合うまちづくりを推進することができた。</p> <p>・7つの協議会で開催された放課後子ども教室を支援することで、放課後の児童の安心な居場所づくりと、地域、学校及び家庭の良好な関係の構築に寄与することができた。</p>							

(単位：円)

南市民センター		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費	62～63
政策 2	活力に満ちたまち		事業名	南市民センター運営事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
33,653,000	31,577,176	0	2,075,824	93.8 %	—			
1 事業目的	南市民センターの施設を安心・安全に使用していく。							
2 事業内容	<p>(1) 南市民センター事務経費 南市民センターを運営していくための事務経費</p> <p>(2) 南市民センター維持管理経費 ア 南市民センター受水槽更新工事 (ア) 工事内容 劣化の著しい受水槽について、更新のための工事を実施した。 (イ) 工 期 令和元年5月24日から令和元年9月30日まで</p> <p>イ 南市民センター空調更新工事 (ア) 工事内容 冷房能力が低下している空調設備について、更新のための工事を実施した。 (イ) 工 期 平成31年4月26日から令和元年9月30日まで (ウ) 工事範囲 (1階) 視聴覚室、事務室 (2階) 展示室、実習室、団体活動室</p>							
3 成 果	<p>・受水槽更新工事及び空調更新工事を実施したことにより、利用者に対して安心安全かつ快適なサービスを提供することができた。</p>							

(単位：円)

大橋市民センター		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費	66～67
政策 2	活力に満ちたまち	事業名		大橋市民センター空調更新事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
53,753,000	19,650,000	29,476,000	4,627,000	36.6 %	80.9 %			
1 事業目的	利用者の安心・安全な大橋市民センターの利用に供するため、経年劣化等により機能低下がみられる空調機の更新工事を行う。							
2 事業内容	<p>空調設備更新・新設工事</p> <p>(1) 工事範囲</p> <p>ア 大橋市民センター 更新工事 集会室、講師控室、調光室、第2学習室、第3学習室</p> <p>イ 大橋児童館 (ア) 更新工事 児童館集会室、児童館図書室、児童館事務室、児童館静養室 (イ) 新設工事 児童館遊戯室</p> <p>ウ 図書館大橋分室 更新工事 図書館分室</p> <p>(2) 工 期 令和2年1月30日から令和2年7月31日まで</p>							
3 成 果	・令和2年夏季の空調機稼働に間に合うよう、大橋市民センター（大橋児童館及び図書館大橋分室を含む）の空調設備更新・新設工事を開始した。							

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		03	民生費	04	災害救助費	01	災害救助費	98～99
政策 1	健やかで安心できるまち	事業名		令和元年台風第 1 5 号被災者支援事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
2,367,000	2,342,932	0	24,068	99.0 %	—			
1 事業目的	<p>令和元年 9 月 9 日に関東地方に上陸した台風第 1 5 号により、千葉県では大規模停電が続き、東京電力による電力復旧の目途もたない状況であった。当市は、平成 1 6 年 5 月 1 日に千葉県袖ケ浦市を含む外 4 市と「平成 3 年生まれ同期市自治体災害時相互応援に関する協定」を締結しており、台風第 1 5 号で被災した袖ケ浦市より物資等の支援要請があったため、対応したものである。</p>							
2 事業内容	<p>当市の備蓄物資の一部であるアルファ化米 7,500 食、保存飲料水 3,000 リットル及びブルーシート 50 枚を上記協定に基づき、支援物資として送致した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県袖ケ浦市への支援物資送致に要する経費（運搬費） ・市備蓄物資補填費用 アルファ化米、保存水、ブルーシート（補填購入） 							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・台風第 1 5 号により被災した袖ケ浦市を支援したことで、袖ケ浦市民の避難生活に役立つものとなった。また、平成 3 年生まれ同期市自治体災害時相互応援に関する協定に基づき、相互の応援をしたものであり、本市においても災害に見舞われた際には、応援要請をすることで、市民の避難生活を支援できる。 							

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	04	交通安全対策費	118～119
政策 1	健やかで安心できるまち	事業名		交通安全設備整備事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
4,993,000	4,503,200	0	489,800	90.2 %	—			
1 事業目的	交通安全施設を継続的に整備することにより、交通事故を未然に防止する。							
2 事業内容	<p>(1) 交通事故を未然に防止するため、路面標示や啓発反射看板等を設置し、歩行者、自転車及び自動車運転者への注意喚起を促すことにより、交通事故の抑止を図った。</p> <p>(2) 交通事故発生か所において、西入間警察署及び関係機関と連携した現場診断を実施して効果的な交通安全対策を行った。</p> <p>(3) 平成30年度から3か年計画で、主に区画整理地内における生活道路の十字路を中心に「生まれ」等の路面標示が劣化しているか所を施工した。(共栄町・脚折町(坂戸駅南通線より東側)地内)</p> <p>(4) 令和元年度においては、県外における園児らの痛ましい交通死亡事故の発生により、国から、「未就学児を中心とした集団移動経路等」の安全確保への取組の推進が示されたため、緊急安全対策として車止めポールや反射啓発看板の設置を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面標示 180か所 ・車止めポール 3か所 ・啓発反射看板 37か所 							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生か所、自治会及びPTA等からの要望か所、区画整理地内における主に生活道路の十字路等に路面標示の施工を行うとともに交差点に車止めポールを設置して、巻きこみ事故の抑止を図った。また、啓発反射看板の設置を行い、運転者への注意喚起を図った。その結果、前年度と比較して、人身事故が△17.7%、物件事故が△4.3%となった。 							

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		09	消防費	01	消防費	02	防災費	124～127
政策 1	健やかで安心できるまち	事業名		災害対策事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
12,192,000	6,457,120	4,950,000	784,880	53.0 %	89.2 %			
1 事業目的	災害及び緊急事態に対する体制を整えることで、災害から市民の生命・身体及び財産を保護する。							
2 事業内容	<p>(1) 国民保護協議会の開催 国・県の国民保護計画の改正に伴い、市の国民保護計画の改正を行った。</p> <p>(2) 防災ハザードマップ印刷業務 平成30年度に作成した防災ハザードマップを3万部増刷し、全戸配布を行った。 ア 契約 イ 発注・作成 ウ 納品 エ 全戸配布</p> <p>(3) 防災行政無線運営業務 災害時等における市民への情報伝達手段である防災行政無線の点検整備及び維持管理を行い、災害時に迅速かつ的確に情報を収集・伝達する体制を整備した。</p> <p>(4) 災害時における備蓄品購入 食料品、飲料水、ウェットタオル、非常用トイレセット、おむつ、歯ブラシセット、生理用品など災害時に備え、計画的に備蓄品を購入した。</p>							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「弾道ミサイル落下時の避難行動の住民への周知」方法などを改正したことで、より市民の生命・身体及び財産を保護できる体制となった。 ・防災ハザードマップについては、全戸配布することで、市民の防災意識の向上に繋がった。 ・固定系防災行政無線及び移動系防災行政無線の保守点検を行い、災害時に通信不良が無く、迅速な情報伝達を行うことができた。 ・災害時における備蓄品を計画的に購入し、台風第19号の際には必要な備蓄品を提供することができた。 							

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		09	消防費	01	消防費	02	防災費	126～127
政策 1	健やかで安心できるまち	事業名		防災行政無線デジタル化推進事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
91,725,000	91,723,941	0	1,059	100.0 %	—			
1 事業目的	平成30年度から令和2年度の3か年で、現在使用しているアナログ方式の防災行政無線を、デジタル方式の防災行政無線へ更新する。							
2 事業内容	<p>平成17年12月1日に電波法が改正され、市に設置されているアナログ方式の防災行政無線は、令和4年11月30日で使用不可となるため、平成29年度に実施した防災行政無線デジタル化移行調査設計を基に、アナログ方式からデジタル方式への移行を3か年かけて行うものである。</p> <p>平成30年度 親 局：操作卓設備 一式 遠隔操作卓 一式 子 局：8局(内鋼管柱4本交換) 戸別受信機：受信機 一式 文字表示機 一式 J - Alert：受信機 一式 自動起動装置 一式</p> <p>令和元年度 子 局：25局(内鋼管柱24本交換)</p> <p>令和2年度(予定) 子 局：25局(内鋼管柱16本交換)</p>							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度、令和元年度の工事により高音質な音声通信となり、雑音が少なく聞きやすい、より良い音での音声放送が可能となった。また、設置されているスピーカーの出力等を増大し、直進性、広域性の高いスピーカーなどに変更することにより、一部難聴地域の解消を行った。 令和元年度までに交換した子局33局中の内4局については、電話のような同時通信(複数)による連絡通話が可能となった。(相互双方向通信) 戸別受信機もデジタル方式に更新したため、文字放送が可能となり、複数メディアへの接続が可能となった。(現在メール配信等の運用について整備中) 							

(単位：円)

生活環境課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		04	衛生費	01	保健衛生費	06	公害対策費	104～105
政策 3	快適に暮らせるまち	事業名		公害対策事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
3,993,000	3,707,186	0	285,814	92.8 %	—			
1 事業目的	継続的に公害調査を実施するとともに、監視体制の充実を図り、公害を防止する。また、市民からの苦情相談に対応する。							
2 事業内容	<p>(1) 公害調査の実施</p> <p>ア 水質汚濁・地下水水質調査</p> <p>イ 騒音・振動調査、自動車騒音常時監視調査</p> <p>ウ ダイオキシン類環境調査</p> <p>エ 臭気測定調査</p> <p>(2) 公害対応、空き地管理指導</p> <p>水路等への油流出事故、騒音、悪臭、野外焼却等の公害苦情に対する対応及び空き地の雑草繁茂等に対する所有者への指導を実施した。</p> <p>(3) 公害等届出事務</p> <p>各法令に基づく届出の受理事務を行った。</p> <p>(4) 大気中の放射線量の測定、測定機器の整備</p> <p>ア 庁舎敷地内及び市内公園等の大気中の放射線量を測定し公表した。</p> <p>イ 市民への空間線量簡易測定器の貸出及び機器の整備を実施した。</p> <p>(5) 有害鳥獣防除及び鳥獣事務</p> <p>ア アライグマなどの有害鳥獣の防除に関する事務を実施した。</p> <p>イ ケガ等を負った鳥獣を保護し、県指定の獣医師へ搬送した。</p>							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・公害調査の継続的な実施により、現状の把握ができた。また、公害防止に有益であった。 ・アライグマの被害相談には積極的にワナを貸与し、防除を行った結果、57頭を捕獲した。 							

(単位：円)

生活環境課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		04	衛生費	02	清掃費	01	塵芥処理費	104～105
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名	地域環境美化推進事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
3,772,000	3,523,502	0	248,498	93.4%	—			
1 事業目的	<p>自治会、市民団体、市が協働して市内の一斉清掃を行うことにより、地域美化意識の向上を促す。また、定期的な不法投棄パトロールなどを実施することで、不法投棄をさせない環境をつくる。</p>							
2 事業内容	<p>(1) 不法投棄防止対策 ア ごみの不法投棄防止の啓発看板の配布。 イ 市内重点箇所について、不法投棄監視パトロール業務を週1回実施。 ウ ごみ集積所における不法投棄物の回収及び運搬を実施。回収した不法投棄物の処理を実施。</p> <p>(2) きれいなまちづくり運動の実施 ア コミュニティ協議会の協賛をいただき、年2回、春と秋に自治会や市民団体などが参加し、市内の道路や公園など地域の一斉清掃を実施した。清掃活動で発生した可燃ごみ、不燃ごみ、道路側溝の汚泥を回収後、それぞれの処理施設に搬入し処理を実施した。 (ア) 春期一斉清掃 実施日：令和元年5月19日(日) (イ) 秋期一斉清掃 実施日：令和元年10月20日(日) イ 毎月1回、自治会などが行う道路の側溝清掃で発生した汚泥を回収し処理を実施した。</p>							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止対策の強化及び不法投棄された処理困難物などの処理を行い、環境美化に努めた。 ・市民・市民団体・市の協働により、一斉清掃を実施し、良好な環境保持に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 春期一斉清掃 (参加団体87団体) (2) 秋期一斉清掃 (参加団体85団体) 							

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		06	農林水産業費	01	農業費	02	農業総務費	108～109
政策 2	活力に満ちたまち		事業名	都市農業振興計画策定事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
81,000	80,850	0	150	99.8 %	—			
1 事業目的	<p>今後の農業の持続的発展のためには、時代や現状に即した展開や方向性を見出す必要がある。このような中、市の農業を「都市農業」と位置づけ、市総合計画の分野別計画として「鶴ヶ島市都市農業振興計画」を策定する。</p>							
2 事業内容	<p>(1) 鶴ヶ島市都市農業振興計画の策定 令和2年度から開始の鶴ヶ島市都市農業振興計画を策定した。 ア 各種調査（平成30年度実施） （ア）アンケート調査 （イ）団体ヒアリング a 新規就農者 b 高倉地区共同作付組合 c つるがしまゆうきの会 d 鶴ヶ島市ひまわり会 e 鶴ヶ島市農業会議所 f 鶴ヶ島市茶業協会 g 太田ヶ谷地区農業者 （ウ）農業者との意見交換会 地域ごとに会場を分け、意見交換会を行った。 イ 計画素案の策定 ウ 素案パブリックコメントの実施 エ 鶴ヶ島市農政推進審議会への諮問 農業の振興と健全な発展を図るため、農業に関する識見を有する者で構成される鶴ヶ島市農政推進審議会へ意見を求めた。 オ 計画の決定</p> <p>(2) 鶴ヶ島市都市農業振興計画の印刷・製本 ア 計画書の印刷・製本 イ 概要版パンフレットの作成</p>							
3 成果	<p>・平成30年度から行った調査結果を踏まえ、有識者の意見を参考にしつつ、鶴ヶ島市都市農業振興計画を策定した。</p>							

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		06	農林水産業費	01	農業費	02	農業総務費	108～109
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		森林環境基金積立金			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率		
1,488,000	1,487,000	0	1,000		99.9 %	—		
1 事業目的	将来にわたり、適切な森林整備及び木材利用の普及啓発等の取り組みに充当するために、森林環境譲与税の一部を基金に積み立てる。							
2 事業内容	<p>(1) 令和元年度から交付された森林環境譲与税について、森林整備等の活用事業として、当該年度に実施した下記事業に充当し、残額は、今後の状況に即した活用につなげるため、森林環境基金を創設し積み立てた。</p> <p>ア 財 源：森林環境譲与税 2,768,000円 イ 充当先：市民の森整備経費 1,281,000円 森林環境基金積立金 1,487,000円</p>							
3 成 果	・森林環境基金を創設したことで、今後、市内における木材利用の促進・普及啓発及び森林整備等に必要となる資金を積み立てることができた。							

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費	112～113
政策 2	活力に満ちたまち	事業名		ふるさと振興発信事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
305,578,000	259,613,346	0	45,964,654	85.0 %	—			
1 事業目的	ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、市内事業者育成及びシティプロモーションを図る。							
2 事業内容	<p>(1) ふるさと納税の取り組み</p> <p>ア ふるさと納税制度を活用した寄附の受け入れ</p> <p>イ パートナー企業への発注・支払</p> <p>ウ 新たなパートナー企業の発掘</p> <p>エ ふるさと納税PR活動</p> <p>VIVA LA ROCK 2019 : さいたま市 4月27日(土)・5月6日(月・祝) 2日間</p> <p>ご当地キャラクターフェスティバルinすみだ : 墨田区 5月25日(土)・26日(日) 2日間</p> <p>ホビーセンター鉄道BIG4トークショー : 新宿区 6月16日(日) 1日間</p> <p>鉄道模型コンテスト : 江東区 7月27日(土)・28日(日) 2日間</p> <p>しらかわキャラ市2019 : 白河市 9月28日(土) 1日間</p> <p>鶴ヶ島産業まつり : 市内 11月9日(土)・10日(日) 2日間</p> <p>ふるさと納税大感謝祭 : 横浜市 11月16日(土)・17日(日) 2日間</p> <p>世界キャラクターさみっとin羽生 : 羽生市 11月23日(土)・24日(日) 2日間</p> <p>関水金属の軽便鉄道展示 : 12月12日から (現在は新型コロナウイルスの影響により休止中)</p> <p>東武の沿線まつり : 豊島区 1月26日(土) 1日間</p> <p>つるゴンぶちお誕生日会 : 市内 2月15日(土) 1日間</p> <p>オ ふるさと納税を利用したガバメントクラウドファンディングを行った。</p>							
3 成果	<p>・平成30年度寄附受入額が減少したため、返礼品の強化及びさらなるPR活動を行った結果、令和元年度寄附受入額は増加した。</p>							